

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年12月28日（金）

2 確認箇所

- ・ Eタンクエリア
- ・ T.P. 2.5m盤及びT.P. 8.5m盤

3 確認項目

- (1) Eタンクエリアにおけるフランジ型タンクの解体工事の進捗状況
- (2) T.P. 2.5m盤及びT.P. 8.5m盤の状況

4 確認結果の概要

- (1) Eタンクエリアにおけるフランジ型タンクの解体工事の進捗状況

Eタンクエリアには、ストロンチウム処理水が貯蔵されていたフランジ型タンク 44基と濃縮塩水が貯蔵されていたフランジ型タンク 5基の計 49基が設置されている。漏えい防止の観点から、タンク内の水抜きが行われ、今月よりタンクの解体工事が着手される計画であったことから、工事の進捗状況を確認した。

- ・ 確認時、タンクの解体工事は着手されていなかったが、タンク同士をつなぐ連結管が一部撤去され、フランジ部は閉止されていた。（写真1）
- ・ また、エリア周囲に敷設されている配管についても一部が撤去され、配管の端部は漏えい防止対策のためビニール養生されていた。（写真2）
- ・ さらに、解体工事の支障にならないよう当該エリアで使用されていた資材倉庫や発電機などは撤去に向けた準備が行われていた。（写真3）



(写真1-1)
Eタンクエリア



(写真1-2)
撤去されたタンクの連結管



(写真 2)



(写真 3 - 1)
撤去予定の資材倉庫

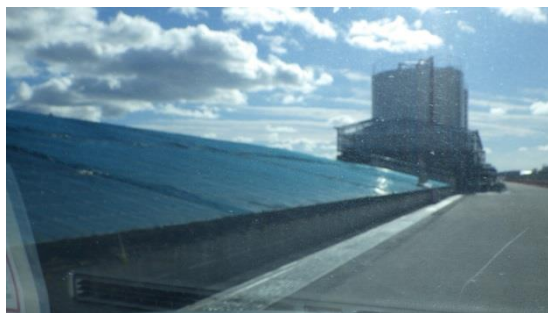


(写真 3 - 2)
移設予定の発電機

(2) T.P. 2.5m盤及び T.P. 8.5m盤の状況

年末年始で多くの作業が休止となることから、T.P. 2.5m盤及び 8.5m盤の状況を現場確認した。

- ・目視した限り、汚染水の漏えいや設備トラブルなど、異常は認められなかった。(写真 4)



(写真 4 - 1) T.P. 2.5m盤の状況



(写真 4 - 2) T.P. 8.5m盤の状況

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。